

女性活躍のための制約人材マネジメント



経営情報学科

こくほ あきこ
国保 様子

● 連絡先

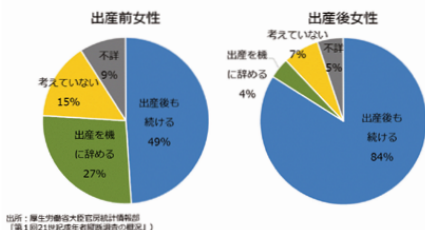
E-Mail : akokubo@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード 女性活躍, 女性管理職の育成, 制約人材, ソーシャル・イノベーション, ソーシャル・ビジネス, 組織マネジメント, 組織行動, 育休ブチMBA, 経営学



経営学の観点から、女性が活躍するための職場づくりや組織のマネジメントについて研究している。企業における女性の活躍は日本は他国に比べて著しく後れを取っているが、大きな課題は、出産・育児と両立しながら就業を継続することが難しいというものである。その原因は、女性個人の就労意欲は高いにも関わらず、長時間労働を評価する組織文化等の職場の「働き方」の問題であることが明らかになっている。優秀であるにも拘らず、職場環境が原因で育児と業務責任を両立させる自信(効力予期)を持たない女性は、適応するために意欲を下方修正したり離職したりする。しかしながら、育児休業期間を利用した経営能力開発トレーニング「育休ブチMBA」での実践を通じて、①女性の意識・態度・行動変容、②管理職の意識・態度・行動変容、③この2つを支える職場環境や人事制度の整備、の3点によってこの経営課題は解決されることが明らかになりつつある。なお研究成果の社会還元を目的として株式会社ワークシフト研究所(静岡県立大学認定ベンチャー)を2015年に立ち上げた。

有職・有配偶者・正社員で出産の意思がある20～34歳の女性の就業継続意欲



育休ブチMBAの様子

**アピール
ポイント**

・女性従業員向けの能力開発、意識変革トレーニングの提供・管理職向けのマネジメント・能力トレーニング・女性が活躍できる職場づくりのための組織コンサルティング